自賠責共同システム「e-JIBAI」の ワンストップサービスとの連携、および新規参画について - 新たな参画会社も加わり、自賠責業務の改革が順調に進行中!-

損害保険会社11社にて開発した自動車損害賠償責任保険(以下「自賠責保険」)の共同システム「e-JIBAI(イー・ジバイ)」 ¹は、平成16年10月以降順次稼動を開始しており、10ヶ月を経過した現在、順調に推移しています。

平成 1 7年 1 2月から、本格稼動を開始する政府の自動車保有関係手続きのワンストップサービス (以下 「OSS」) 2 との連携、自動車メーカーシステムなど外部システムとの接続が順次実現する予定です。

また、このたび全国労働者共済生活協同組合連合会(以下、全労済) 大同火災海上保険株式会社(以下「大同火災」)の2法人が新たに参画することとなり、e-JIBAIは損保会社12社、共済1団体の合計13法人による共同システムとなります。

今後も13法人は、未参加法人への働きかけを行い、e-JIBAIの一層の普及を図ることにより、 お客様および代理店における利便性の向上に努めていきます。

- 1:お客様、代理店の利便性向上、システム開発コストの圧縮を目的に、自賠責保険証明書の作成機能、申込データの振り分け機能、代理店からの保険料送金機能などを共同開発したシステムです。
 - 本システムの開発・運用は、株式会社野村総合研究所、株式会社日立製作所にご協力をいただいています。
- 2:新車の登録などの諸手続きをパソコンで繋いだオンラインを用いることによって複数の行政機関に出向くこと なく一括での申請を可能とする行政サービスです。

登録の際には自賠責保険の加入状況の確認も保険会社へ電子的に行う必要があります。

1.共同システムの稼動状況(平成17年7月末時点)

現在、約8万店の代理店が、共通用紙による自賠責保険証明書の発行や申込内容のデータ送信、 精算の集計作業に連動したペイジー決済や振込によるキャッシュレス精算などによる効率的な 自賠責業務を行っています。

- (1)登録代理店数(利用ユーザー数) : 82,967店
- (2)累計扱契約件数 : 2,519,568件

2.新規参画会社

全国労働者共済生活協同組合連合会 大同火災海上保険株式会社

全労済参画による損保会社と共済との組織の垣根を越えた連携、さらに大同火災参画による 全国を隈なく網羅するネットワークにより、 e - JIBAIの展開に一層の加速がつくことに なりました。

3.平成17年度の開発

平成17年度の開発として、OSSシステム、自動車メーカーシステムなどの外部システムとの接続に伴う新たなシステム機能の開発を早急に進めており、12月から順次対応を行っていきます。

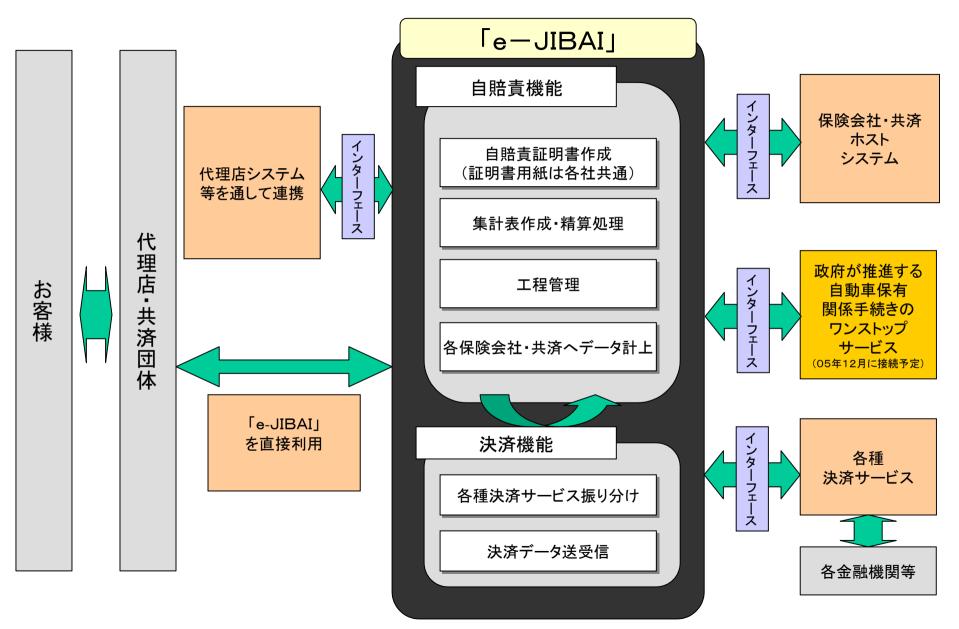
行政サービスであるOSSとの連携が実現することにより、e-JIBAIは契約者利便性の一層の向上に貢献できるものになります。

以上

【添付別紙1】共同システム「e-JIBAI」のイメージ

【添付別紙2】共同システム「e-JIBAI」のロゴ

自賠責共同システム「e-JIBAI」のイメージ



共同システム「e-JIBAI」のロゴ



「電子化された自賠責保険事務」という意味合いから、この名称といたしました。 e-JIBAIは、基本的にBtoBサービスのインフラですが、今後、生活者に身近かな自動車 保険を支える新しい社会インフラとなります。そこで、ロゴマークの作成にあたっては、 多くの人から親しまれ市民権が得られることをデザインの基本方針としました。

イメージ面では、「新しさ」「安心感・信頼感」「親しみやすさ」を表現。また、機能面では、「JIBAI」の部分に損害保険および共済としての安心感にもつながる堂々とした大文字を用いる一方、2つの「i」を小文字として可読性を高め、はじめて接する人にも「イー・ジバイ」と読んでいただけるように配慮しました。楕円は安心感とやさしさを表現するとともに、e-JIBAIに参加する損害保険会社および共済が「ひとつの場」を共有していることを表現しています。

このロゴマークは、e-JIBAIのWEB画面をはじめ代理店向けパンフレット等にも使用しています。

登録商標